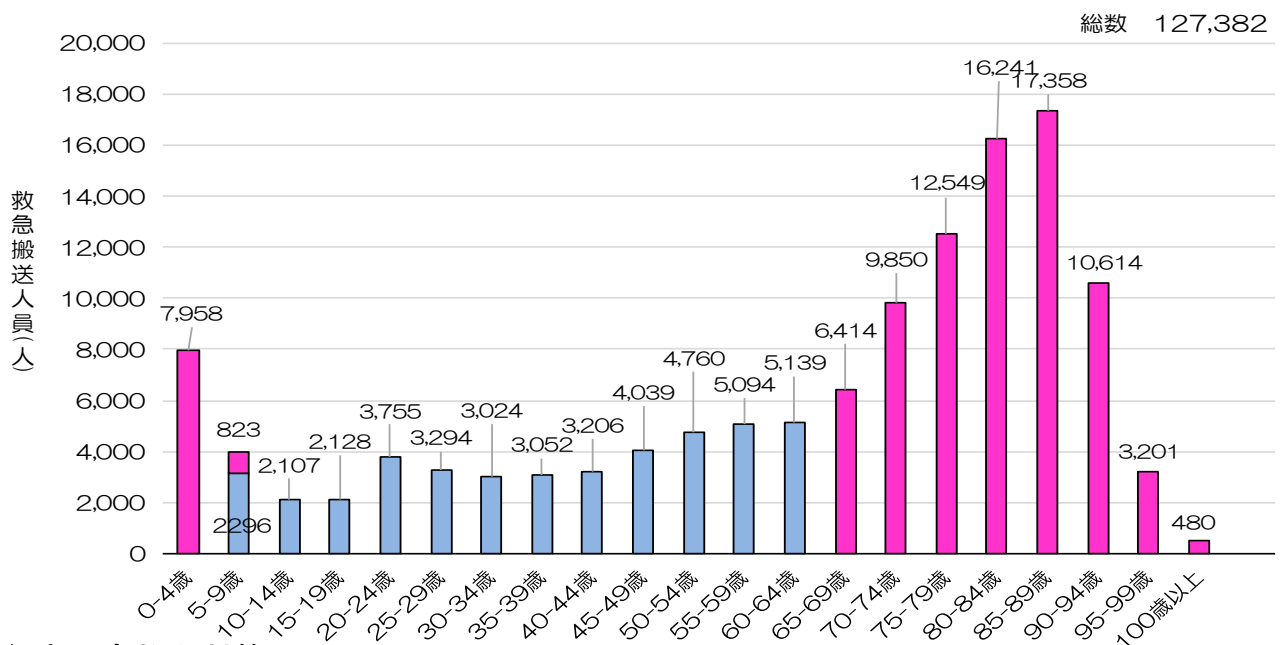


## 子どもの事故を防止しよう

### 《日常生活における事故》

令和2年中は、127,382人が日常生活の事故で救急搬送されています。

その中でも、5歳以下の子ども（乳幼児）と高齢者の救急搬送人員が多くなっています。乳幼児は危険に対する認識が乏しく危険を回避する能力が未熟です。家族など周囲の人が、過去にどのような事故が発生しているかを知り、事前に対策をとることで、重大な事故から子供を守りましょう。



### 《主な生活事故と対策》

#### 住宅の浴槽での「おぼれ」



##### 「おぼれ」による事故を防ぐために

- 乳幼児をお風呂に入れているとき、水遊びをさせているときは、決して目を離さないようにしましょう。
- 子供だけで浴室に入れないようにしましょう。

#### 「はさまれ」

##### 「はさまれ」による事故を防ぐために

- ドアの開閉時は、子どもがどこにいるか確認しましょう。
- ドアの蝶番側は、指はさみ防止グッズなどでカバーしましょう。
- エレベーターやエスカレーター付近では遊ばせないようにしましょう。

## 「やけど」

### 「やけど」による事故を防ぐために

- やけどのおそれのあるものは、子どもの手の届くところに置かないようにしましょう。
- 子どもを抱いたまま、調理しないようにしましょう。
- 熱い食べ物等は、冷ましてから子どもに食べさせましょう。

## 窓やベランダから「落ちる」

### 窓やベランダから「落ちる」事故を防ぐために

- ベランダを子どもの遊び場にしないようにしましょう。
- エアコンの室外機、植木鉢などを置く場所には注意しましょう。
- ベランダへの出入口の窓などには、鍵を二重に設ける等の措置を講じましょう。
- 定期的に手すりにガタつきや腐食などがいないか、確認しましょう。

## トピックス

# 消防少年団入卒団式を実施

令和4年4月10日に、地域の防火防災を守るべく、新たに入団する少年団員を迎え入れるため、日本堤消防少年団入卒団式を行いました。

それに伴い、現少年団員に向けた、皆勤賞、精勤賞等の表彰も行いました。

地域を自分の手で守るべく入団した少年少女の今後に期待です！！



### 日本堤消防署管内の災害状況[令和4年中]

(令和4年5月1日現在)

火災件数	14件
焼損床面積	6㎡
救助件数	56件
救急件数	1,731件

### お問合せはこちらまで

日本堤消防署 03-3875-0119  
日本堤消防署二天門出張所 03-3845-0119  
日本堤消防署今戸出張所 03-3873-0119  
E-mail nihondutumi2@tfd.metro.tokyo.jp

メールマガジンについてのお問合せは日本堤消防署警防課防災安全係にて受け付けております。